

解答

問一	事	①	①
問二	うけたまわ	裁判	②
問三	〔り〕	往復	② ③
問四	おこそ	敬う	〔かな〕
問五	〔③〕	しょうじん	

問四 五
ア しめすへん

問二 ア [

弓道なら簡単で自分にもできるかもしないという考え方。
荷工エア弓道

問六
問十一
「線⑤の少し後にある「もしかするどうすまきは」で始まる段落から、筆者の考え方が読み取れます。「この世の中の不思議なこと、大切なこと、美しいこと、自然なことに共通する根本存在かもしません。」という記述から、選択肢イが、ふさわしいとわかります。
本文の最後の段落に着目します。お子さんの粘土細工に「うずまき」があるかを探るのは、縄文の応用として面白いことであり、日常を新たな視点で見ることでもあると述べ、いろいろなものに接する目を持つことが、縄文という文化、精神を現代に生き続けさせるという内容から選択肢工が選べます。

解說

一

「この世の中の不思議なこと、大切なこと、美しいこと、自然なことに共通する根本存在かもしませ

問三

前の部分から、早弥は「へたっぴな自分が選ばれるわけがない。」と思つて いることがわかります。また、
——線③に含まれる「発表してあげればいいのに」から、自分以外の三人が選ばれると考えて いることが
読み取れるので、選択肢Aが選べます。

問十一

——線⑩の後に、春について説明があります。小学校五年生で日本の小学校に転校してきたことや、外国人
人は珍しい地方都市で、アフリカ系の父を持ち、肌の色のちがいや、日本語があまり上手ではなかつたこ
とから、周囲の理解を得るのに苦労した様子が伝わつてくるので、「人一倍苦労してきた」という記述を含
む選択肢イが選べます。